

電波時計 取扱説明書
(デジタル音声目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2509)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート

https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。
例. 8RZ○○○

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくためにははじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

図記号の説明

⊕は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の
治療を受けてください。



電池の液漏れや発熱、破裂を防止する
ために、電池について次のことを守る

- 傷をつけない。 ●分解しない。
- ショートさせない。 ●充電しない。
- 加熱しない。 ●火の中に入れない。



梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや
故障の原因になります。



強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。



浴室やサウナ、温室など、高温・高湿
になる所では使わない
さびや故障の原因になります。



ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。



分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。



液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐ
に石けんで洗い流してください。



電池の液漏れが起きたときは、素手
でさわらない



●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗
い流して医師の治療を受けてください。衣
服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い
流してください。アルカリ乾電池の場合、失
明や炎症などの障害が発生する危険性が高
くなります。



●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき
取ってください。修理が必要なときは、お買
い上げの販売店または当社総合サポート
にお問い合わせください。



下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣
化、故障の原因になります。



- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が－10℃以下または＋50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直
接ふれさせておくと、色移りや付着、変質
をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(－)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが
長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- 買い置き電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなることがあり
ます。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶
縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき
取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使
用しないでください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、リセットを押し
てください。

保証書		保証書	
GUARANTEE		保証書	
※印は販売元記入		※印は販売元記入	
取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。		※品名・型番	
※販売店印(住所、店名、電話番号)		※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間	
		お客様 ご氏名	
		ご住所	
		TEL() -	

- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小さキズや汚れなど)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(https://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

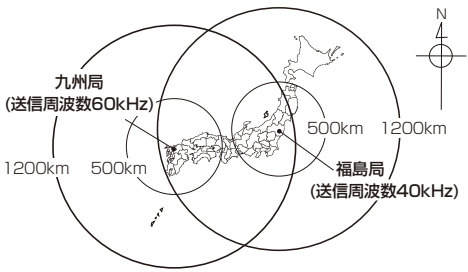
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

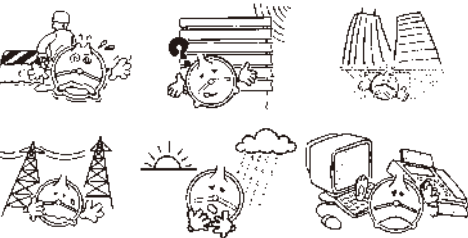


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の戸戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



おもな製品仕様

使用温度範囲	－10～50℃	液晶表示可読温度範囲	0～40℃
時間精度	表示精度 標準電波受信成功直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)		
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格LR6 2個		
電池寿命	約1年(アラームを30秒/日、照明を3秒/日、報時 音量小で24回/日、カレンダー・時刻自動修正)		
標準電波受信局	福島局/九州局 自動選択		
受信機能	ボタン操作でON/OFF切り替え		
受信回数	8回/日		
受信時刻	1時～4時、13時～16時の各時間帯の16分40秒から受信開始		
手動時刻合わせ	ボタン操作		
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒	時報機能	毎正時に音声告知
アラーム時刻	2つの時刻設定	カレンダー	2009～2069年まで対応
アラーム音	電子音+音声(日付、曜日、時刻)	温度表示	表示範囲 -9.9～+50℃ 表示範囲での精度 ±2℃
スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止		
オートストップ	アラーム音が連続2分で自動停止		
照明	ライトボタンを押してから約3秒間照明	音声ガイド	音声合成 ON/OFF スイッチ操作
防滴防塵機能	なし		

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。

40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

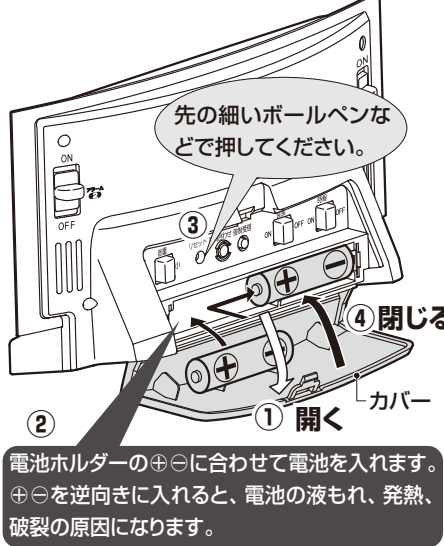
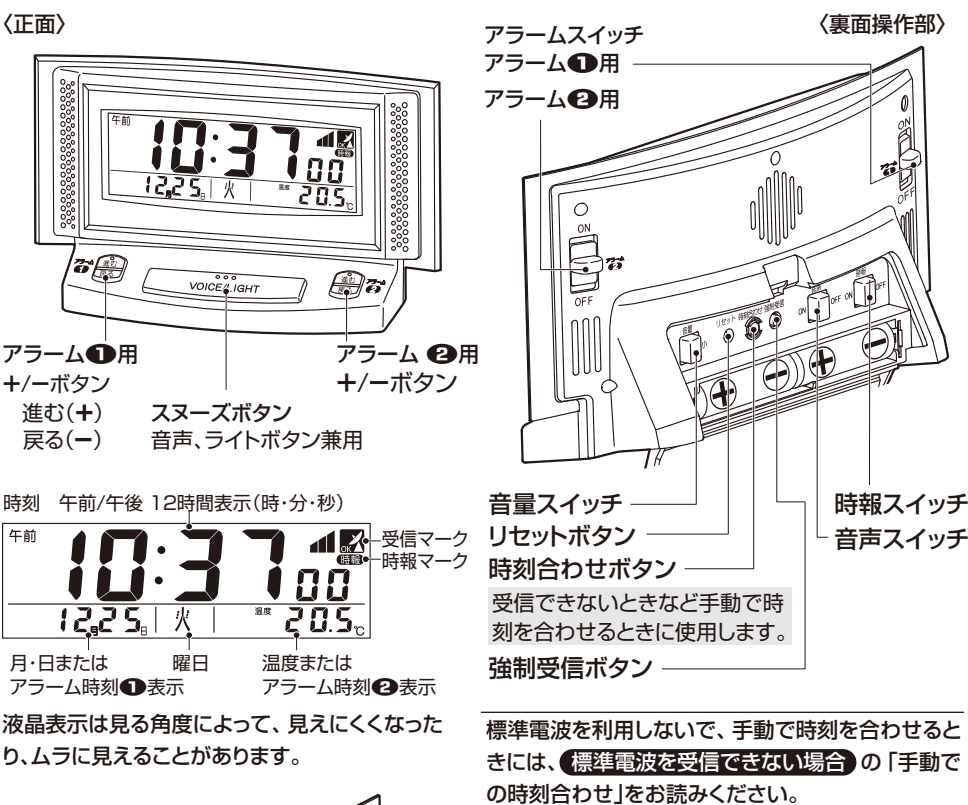
CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

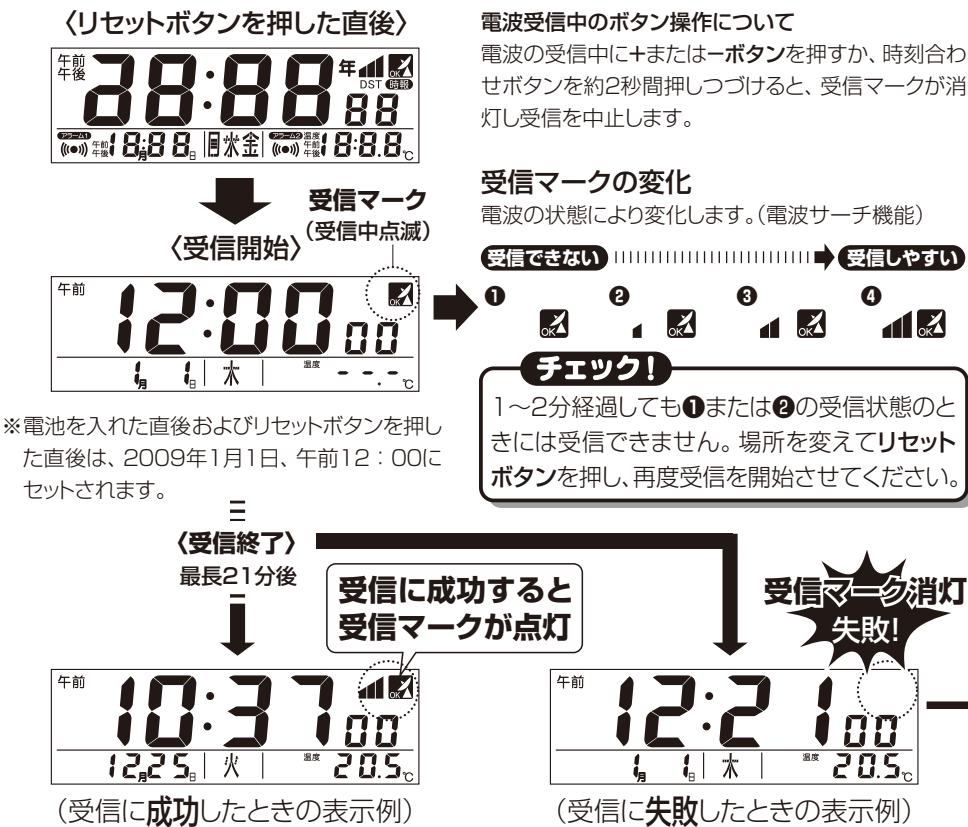
電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

1 電波を受信して時刻を合せる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



【受信の流れと表示】



※受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
※受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、リセットボタンを押して再度受信を試みてください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波送信所になるべく向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作で日付、時刻を設定することができます。

■ 手動での時刻合わせ

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進む(+)または戻る(-)ボタンを押して数値を合わせます。
 - 進む(+)または戻る(-)ボタンを押すつづけると速く変わります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功するとカレンダーと時刻を修正します。

※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。
※電波を受信できないときの時間精度は、平均月差±30秒になります。

A 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。

- 受信機能が無効のときは、機能しません。
- 手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

③ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合せる)

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
○「ピー」と鳴ったらすぐに押してください。
○受信機能がOFFになると「ピー」と鳴りません。
○年月日と時刻は手動で合わせてください。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

◎工場出荷時の設定は、電波受信機能は有効(ON)になっています。

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2009年1月1日午前12:00、アラーム①は午前6:00、アラーム②は午前6:30に初期化されます。

- 受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。

標準電波を受信できない場合は「手動での時刻合わせ」をお読みください。

電波の受信しやすい窓際などに置いてください。

- ① カバーを開ける
- ② 電池を入れる
- ③ リセットボタンを押す

「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。「ピー」と鳴らないときは、電波受信機能がOFFになっています。

④ 電波受信機能のON/OFF操作

- ④ カバーを閉める
- ⑤ 受信開始から21分後に受信結果を確認する

受信には最長で21分程度時間がかかります。【受信の流れと表示】参照

受信成功:受信マーク点灯

受信失敗:受信マーク消灯

◎ 受信中はボタンに触れないでください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に+または-ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい

チェック! 1～2分経過しても①または②の受信状態のときには受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

受信に成功すると受信マークが点灯

受信に失敗した場合は、表示されている日付/時刻は正しくありません。

受信マーク消灯 失敗!

受信に成功したときの表示例

受信に失敗したときの表示例

2 アラーム機能の使い方

アラーム①と②、2つのアラームを使用することができます。

アラーム時刻を設定するときやアラームのON/OFFを切り替えるときには、アラーム①②それぞれの進む(+)/戻る(-)ボタン、アラームスイッチを使い分けてください。

●スヌーズボタンは①②共通です。

●アラームの時刻合わせの操作は①と②を同時にできません。

▶2つのアラーム時刻が重なったときは、①が優先されます。

▶アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームが鳴り、スヌーズ機能とアラームオートストップ機能は、後のアラーム時刻が対象になります。

◆操作説明の例は、アラーム①を使用しています。

アラーム時刻の合わせ方

〈表示例〉アラームスイッチ①②がOFFのときに、アラーム①のアラーム時刻を設定。



進む(+)

戻る(-)

操作するときには、アラーム①②それぞれに対応した+/-ボタンを使用してください。

①+または-ボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。

②アラーム時刻を合わせる
+または-ボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。

③約7秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。

アラームのON/OFF設定

〈表示例〉

アラーム①ON、アラーム②OFF



アラーム

スイッチ①

ON

OFF

アラーム

スイッチ②

ON

OFF

アラーム

スイッチ③

ON

OFF

アラーム

スイッチ④

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑤

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑥

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑦

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑧

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑨

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑩

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑪

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑫

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑬

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑭

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑮

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑯

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑰

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑱

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑲

ON

OFF

アラーム

スイッチ⑳

ON

OFF

アラーム

スイッチ㉑

ON

OFF

アラーム

スイッチ㉒

ON

温度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温

設置場所について

- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- 温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 本製品は室内用です。室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。